

令和元年度

盛岡市
都市
景観賞

2019 Morioka Urbanscape Prize



盛岡市

鉈屋町のゲストハウス



鉈屋町の入り口にある明治時代の蔵をリノベーションし、ゲストハウスとした2階建の建物です。

蔵の印象をそのままに、庇や看板・植栽などの構成が鉈屋町の街並みと調和し、足を停めホッとする空間を創り出しています。石垣風のしつらえや古材利用の色彩、植栽など細やかな配慮が多く、現代風にアレンジしながら城下町らしさを感じる佇まいがこの場にふさわしいものとなっています。鉈屋町界隈は平成26年度に盛岡市都市景観賞を受賞していますが、5年たって新たなランドマークとなる存在感を醸成しています。

観光資源としてインバウンド交流にもつながっていくよう、建物の管理運営だけでなく機能としてもさらに周辺と調和していただきたいという思いを込め、選ばれました。



もりおか往診ホームケアクリニック



新しい街並みが作られている北飯岡に、新しく開所した診療所です。

白を基調とした清潔感あるデザインの低層2階建てで、周囲の山々の稜線を遮ることはありません。屋上に設置された設備も一箇所に集中させルーバーで目立たなく配慮し、好印象につながりました。2階に張出したスクリーン壁と、支持材の細さが機能的かつ連続性とリズム感も生んでいます。建物と外壁、植栽の配置のバランスも洗練された印象を醸し出し、新しく形成されつつある地域に良好な景観を醸しています。正面と道路沿いの寄植えや、中庭の庭池なども訪れた人にやさしい雰囲気を与えています。張り出した白い外壁の管理は計画的になされており、今後も継続することを期待します。

盛岡南インターチェンジを降り市街地へ入る途中にある洗練された医療施設が、この地域の景観形成をさらに向上させることが望まれます。



●令和元年度 盛岡市都市景観賞 受賞物件 (敬称略)

名 称	所在地	建築主等	設 計 者	施 工 者	完成年
鉢屋町のゲストハウス	鉢屋町	三田農林株式会社 代表取締役社長 三田 林太郎	有限会社 もくそうしゃ 李創舎建築設計事務所	有限会社 もくそうしゃ 李創舎	令和元年 (改修工事)
もりおか往診ホームケア クリニック	北飯岡 三丁目	医療法人葵会 理事長 木村幸博	株式会社 ブルーフあいアーキテクツ 一級建築士事務所 PIA	はりま建設 株式会社	平成29年

●応募状況と受賞件数

応 募 者 数	応 募 件 数	審査対象件数	受 賞 件 数
28 人	34 件	21 件	2件

●表彰基準

「盛岡市都市景観賞実施要綱第4」より

都市景観賞の対象は、完成後おおむね5年以内の建築物等であるほか、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- ①一般に公開され、または開放されているものであること。
- ②暫定的なものでないこと。
- ③敷地内に緑地又は広場の空間を適切に配置しているものであること。
- ④周辺地域に調和しているものであること。
- ⑤自然景観に調和しているものであること。
- ⑥歴史的景観を継承しているものであること。
- ⑦その他都市景観の形成に寄与しているものであること。

●盛岡市景観形成推進委員会名簿 (50音順・敬称略)

内田 信平 (岩手県立大学盛岡短期大学部 准教授)	大櫻 薫 (公益財団法人盛岡観光コンベンション協会 いわて・盛岡広域観光センター長)
大瀧 英知 (特定非営利活動法人いわて景観まちづくりセンター 理事)	金沢 滋 (岩手・木質バイオマス研究会 顧問)
川村 久子 (ColorStudio 川村工房 代表)	紺野 憲彦 (岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり課長)
杉本 吉武 (アートディレクター)	鷹脣 紅子 (有限会社鷹脣建築設計事務所 代表取締役)
中居 真一 (株式会社中居都市建築設計 取締役設計長)	深渡 義哲 (国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 計画課長)



岩山展望台から南昌山・岩手山・姫神山眺望をパノラマ撮影したものです